

水ぼうそうに気をつけましょう！

小豆保健所管内で水痘（水ぼうそう）が流行していますので、ご注意ください。

○保健所別定点当たり患者数（最近4週の発生状況）

[令和8年 第31週（7月27日～8月2日） ～ 第34週（8月17日～8月23日）]



◇水痘とは？

いわゆる「水ぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスというウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。

◇症状は？

- ・2週間程度（10～21日）の潜伏期間を経て、発症します。
- ・主な症状は、発熱と発疹です。
- ・発疹は直径3～5mm程度の大きさの全身性で、かゆみを伴います。数日にわたって新しい発疹が次々とできるため、紅斑・丘疹・水疱・痂皮（かさぶた）が混在し、全てが痂皮化するまで6日程度かかります。
- ・通常は軽症ですが、まれに重症化（脳炎、髄膜炎、肺炎などを併発）することもあります。

◇感染経路は？

- ・ウイルスが空気中に漂い、その空気を吸い込むことによる空気感染や、咳やくしゃみなどによる飛沫感染、患者との接触による接触感染があります。
- ・発疹出現の2～3日前から全ての発疹が痂皮化するまでの間、感染させる力があります。

◇ワクチンは？

- ・予防接種法により定期接種の機会が設けられています。
- 接種対象：1歳～3歳未満 接種回数：2回

感染予防のポイント



- ①ワクチン接種を受けましょう。
- ②看護する人は、自分が水痘にかかったことがあり免疫を持っている場合でも、他の人にうつさないようこまめに手洗いをしましょう。
- ③できるだけ、感染者との接触を避けましょう。